

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 10月 29日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4676800156号
法人名	橋友会
事業所名	グループホーム南の家族
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志2丁目27番18号 (電話) 099-472-8486
自己評価作成日	平成24年9月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの意向を尊重し、居心地のよい環境になるようにそれぞれ出来ることをして頂き、ゆっくりと待つケアを目指している。また、季節の行事や、外食・ドライブ・バイキングなどを取り入れ楽しくハリのある生活が出来るよう取り組んでいる。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年10月22日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは医療系施設と介護系事業所の連携が充実した環境の中にあり、4階建ての1階が2ユニットのグループホームで2～3階がケアハウスである。災害時には隣接した関係施設との密な協力支援が得られ、安心安全が確保されている。ホーム主体で年4回、自主訓練を行っている。グループホーム、ケアハウスの夜勤者は夜勤開始前に一同に集まり、火災や避難に備えての確認を行っており、当初より一日も欠かさず実施、継続している。

理念とは別に今年度より職員全員で話し合っ「ケアのモットー」を目標に掲げ、毎朝の唱和で実践に繋げている。

食事の際は必ず、車椅子から移乗させメリハリのある生活が送れるように配慮している。又、車椅子、歩行器も使い分けて生活リハビリに繋げている。

ホームにも看護師が常勤し、医療面では定期的に医師、看護師の訪問があつて利用者の健康管理が密に行われている。

看取り支援についても家族、医師、看護師、職員がチームとなり本人、家族の思いに添える支援ができています。

旬のもの、新鮮な食材にこだわり、それぞれの職員が行った先々で産地のものを手に入れ美味しい食事の提供に力をいれている。漬物やおやつも手作りが多く、利用者に笑顔をもたらしている。

離職が少なく職場で互いに学ぶ姿勢が見られ職員の質の向上にも繋がって

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の理念を毎朝申し送り時に唱和し、理念については職員会議で話し合うことで意思づけをし実践している。	今年度より職員全員で話し合い「ケアのモットー」としての文言を掲げ、理念と共に毎朝唱和、意識づけを図りながら共有、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所で行う行事に地域の方々を招待している。年2回の消防訓練にも参加して頂き交流をしている。	事業所主催の運動会、夏祭り、敬老会、クリスマス会には地域住民を招待している。中学生、高校生、教員研修先としての受け入れも行っている。地域での行事やイベントなどにも積極的に参加している。津波などの避難先として法人の4階を開放する事や近隣の幼稚園運動会には敷地を駐車場として解放したり交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々に運営推進会議に参加して頂き、認知症の理解や接し方など伝えている。実習生も積極的に受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では利用者の生活状況や行事等の取り組みなど報告し皆さんからの意見や要望を頂いている。そこでの意見や要望は職員会議で話し合いサービスの向上に生かしている。	区長、地域住民代表、民生委員、家族代表、利用者代表、市議員、行政などの参加を得て2ヵ月に1回開催している。ホームの現状報告、防災対策など話し合ったり、参加者からの意見、要望を聞いてサービス向上に活かしている。	

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	会議に市の担当者の方も参加して頂き、事業所の取り組みを報告し協力関係を築いている。更新手続きや書類等を市に提出の際にも利用者の暮らしぶりなど伝えるようにして連携を深めている。	担当者の来訪を受けたり、生活保護受給者もいるので毎月、報告などで連携を図っている。米寿、白寿の利用者に対し、市からお祝いを届けてもらったり日常的に交流している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会が中心となり勉強会をし職員の共通意識図っている。玄関の施錠はせずに見守りをし、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるように図っている。	法人全体でも勉強会を実施しているが、ホームの中でも身体拘束委員会を中心となり、事例検討会を行い意識付けが出来ている。日常業務の中でも「ケアのモットー」に「忙しい」「待つて」は言わないの文言を掲げ、管理者、主任は職員に周知徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会にて職員が理解をしている。また、不適切な発言があるときにはその都度注意をし職員会議で話し合いをして防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今のところ該当者はいないが、職員会議や機会があるごとに職員に説明をし理解を深めるようにしている。		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項内容の事業所のケアに関する考え方や、重度化の看取りについての対応方針・医療との連携など詳しく説明してる。また、介護報酬改定や料金の変更については家族会で報告し同意をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議に家族・利用者代表が参加し意見や要望など伝える場を作っている。出された意見や要望など職員会議で話し合い反映させている。	年2回の家族会や面会・電話連絡時に家族からの意見を聞いている。ホーム内に第三者委員も掲示し、各居室に面会簿を置いて意見が出しやすい工夫をしている。ホーム便りを月1回発行し、利用者のホームでの生活報告もしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議を開き意見を聞くようにしている。また、個人面談や毎朝の申し送り時にもいつでも聞けるようにし反映させている。	毎月、2ユニット合同の職員会議を全員参加で行っている。法人主催の親睦会や資格取得の支援もあり働きやすい職場環境である。ホーム内でも食事会を持って職員が気軽に意見、提案を出しやすい雰囲気作りに努めている。出された意見、提案を業務改善に活かしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握し労働時間の調整など行っている。また、職員の資格取得に向けた支援を行い取得後は職場内で活かせる労働環境づくりに努めている。		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修にはなるべく多くの職員が受講できるよう計画し研修報告を毎月の職員会議で発表している。法人内でも3か月ごとの勉強会を開催し職員の向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡協議会や施設部会に参加し、他のホームの見学や研修などでお互いにサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で生活状況を聞き取り本人の気持や要望などを傾聴することで安心して生活ができるよう努め信頼関係を築いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と事前面談をし要望や不安なこと、ケアに対する意向などを聴き対応できるように話し合い関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人・家族の思いなどを聴き信頼関係を築きながら、事業所のサービスにつなげるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有し、生活文化や、季節の料理など教えて頂きお互いに支え合う関係を築いている。		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子などホーム便りで家族に伝えたり、行事などにも家族の方の参加をお願いし本人を支えていくための協力関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室へ家族と行かれたり、近くの知人がホームへ遊びに来られたりして交流ができるように支援している。	入居前の生け花の先生にはお弟子さん、俳句の会の会員には俳句仲間の訪問、居宅介護時のホームヘルパーさんの訪問等、関係継続を図っている。友人、知人が訪ねやすい雰囲気作りに配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶の時間や食事などスタッフも一緒に入り会話を楽しく過ごしている。また、利用者同士でお互いの部屋を訪ねたりできるよう働きかけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移られても面会に行ったりして、継続的な付き合いができるよう心掛けている。また、家族からの相談等にも応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の係りの中で思いや希望などを聞いたり、表情や態度で汲み取ったりして把握するようにしている。困難な場合は家族から情報を得るようにしている。	日常の会話、表情、言動、家族の情報から把握している。聾啞者の方とは文字盤を用いてコミュニケーションを図っている。レクリエーションを通して利用者の好みを引き出したり、自己決定できるよう支援し、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談で訪問し本人や家族から生活歴や生活環境を聴いたり入居前のサービス事業所からの情報などで把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝の申し送りでその日の状態を確認し、日中や夜間の状況など記録して職員全員が個々の状態を把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望を聴きながらアセスメントを取り職員全員でカンファレンスを行い意見交換している。また、モニタリングにより自分らしく暮らせるよう介護計画を作成している。	個人用の新聞拝読や晩酌、囲碁、将棋など利用者の今までの生活の継続、楽しみごとをプランにあげた個別の介護計画を作成している。担当者が毎月、モニタリングを行い、3ヶ月毎に職員全員でカンファレンスを持ち、必要に応じて見直しを行っている。	



鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態など個々のケースに記載し、毎朝の申し送りで情報を共有している。月末にモニタリングをすることで介護計画の見直し・評価を実施している。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急な通院の送迎、訪問診療、訪問看護との連携など、支援は柔軟に対応し個々の満足を高めるよう努力している。			
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に民生委員・区長地域住民の方や地域包括支援センターの職員・介護保険課の職員が参加することで、周辺の情報交換や協力関係を築いている			
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。職員の通院介助もあるが訪問診療に来てもらうケースもある。医療機関と関係を密に結んでいる。	入居前からのかかりつけ医の受診を支援している。定期的な往診、訪問看護師、ホームの常勤看護師の下、密な健康管理が行われている。本人の状況によっては家族同行の受診もある。受診結果は必ず記録している。		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。また、訪問看護ステーションと連携を取り適切な医療につなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時はサマリーを作成し医療機関に情報を提供している。職員が頻回に面会に行き主治医と相談しながら早期に退院が出来るよう回復状況を確認している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針を定め、本人家族の意向を踏まえながら本人にとってどうあったらよいか家族・医師・職員が話し合っている。また、連携を取り安心して納得した看取りができるよう取り組んでいる。	入居時に指針について説明し、家族の意向を聞いている。入居後は本人の身体状況に応じて医師の指示の下、家族と方向性を話し合い、方針を共有している。「看取り看護についての同意書」を作成し、医師、家族、職員、訪問看護師がチームとなって支援している。職員は看取りに対してのシュミレーションなど勉強会を持って不安軽減に繋げている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し応急手当の勉強会を定期的に行うことで全職員の周知徹底を図り緊急対応ができるようにしている。		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、定期的に地域の方々も参加して避難訓練を行っている。夜勤の両棟職員は毎日消防の流れを唱和して安全な避難ができる体制を作っている。</p>	<p>年2回、併設のケアハウスと合同で昼夜間想定避難訓練を行っている。年2回は自主訓練も行い、市主催の津波に対する防災訓練にも参加している。夜勤者はケアハウスの夜勤者と共に火災や避難に備えての流れを確認し、手順が自然と身につく体制を作っている。備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切にし、排泄の声かけなども目立たずさりげない言葉掛けをしている。また職員の言葉使いや声かけなどもプライバシー損ねないようなケアであるよう意識徹底している	利用者は人生の先輩であるという考えを職員は共有し、排泄の声掛けもさりげなく行うように心がけている。日常業務の中でも気付いたら注意して尊厳ある接し方を意識付けている。居室のドアも本人の希望に添ってプライバシーの確保の支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一日の過ごし方で本人が希望することを自分で決められるような場面を作っている。意思表示の困難な方にも声かけや表情などで読み取ったりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に合わせた過ごし方で起床・食事時間も利用者のペースにそって行い、本人の気持ちを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えなど本人に伺いながら手伝うようにしている。行事や外出時にはおしゃれな服を選び口紅などでお化粧をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	竹の子・つわなど季節の野菜の皮むきなどして頂き季節を味わってもらったり、行事食・誕生会などのイベントで楽しんで頂いている。	食事が楽しみになるよう、美味しい食事を提供できるよう心がけている。旬の野菜、新鮮な食材を選択している。誕生会には本人の嗜好を聞いて献立をたてたり バイキング、出張ラーメン、寿司なども取り入れている。ホームの敷地を利用してソーメン流しや食事を楽しむこともある。	

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士よりカロリー計算したバランスのよい献立を職員が利用者の状態に合わせた量や形態を提供し支援している。また、水分摂取はチェック表に記録し水分量を把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は洗面所にて義歯を洗浄しうがいをしている、自分で出来る方は見守り、出来ない方は介助しながら口腔ケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は声かけしてトイレ誘導し尿意のない方に対しては排泄チェック表にて確認しトイレで排泄が出来るよう支援している	排泄チェック表を作成し、パターンを把握し、日中は全員トイレ誘導し、トイレでの排泄を支援している。利用者の介護計画にも入れ込んで改善に導いている。自立している利用者に対しては継続できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	おやつなどにも繊維質の多い物や乳製品など提供している。便秘症の方には腸の動きをよくするために散歩や水分補給の工夫をし便秘予防に取り組んでいる。		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日のバイタルチェックを確認後入浴の声かけをし、その日の希望や体調に合わせて職員の見守り介助にて会話をしながら楽しく入浴して頂いている。	基本、週3回であるが本人の希望、身体状況に応じて柔軟に支援している。入浴を嫌がる利用者には声掛けの工夫で支援している。自立している利用者も見守りで安心、安全に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状態に合わせて食後テレビ観賞された後お昼寝されたり、20時には牛乳を飲まれ職員と会話をし安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬状で内容・用量を申し送りにて職員が把握している、服薬時には利用者の名前・日付けを声を出して2人の職員が確認し手渡しや介助にて服薬されている。症状の変化があるときには主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞たたみや洗濯物たたみシルバカーや居室の掃除などできることはして頂いている。季節の行事で外出やドライブ・出前にバイキングなど取り入れ手作りおやつを作って食べて頂き楽しみや気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気欲や屋上への散歩をスタッフと一緒にいかれたり、遠くの場所への外出は家族の協力を依頼している。また、行事で計画を立て全員で出かけられるよう取り組んでいる。	日常的に芝生での外気浴、屋上への散歩、同敷地内にある小規模多機能ホームに出かけ気分転換を図っている。花火大会見学、花見、ドライブを兼ねた外出を支援している。	

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の所持については、自分で持っている方はいませんが、ご家族の意向や本人希望にて必要な場合は事業所が預かり職員と一緒に買い物ができるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は入り口カウンターに設置し職員と一緒に掛けるようにしている。手紙が届く利用者には返信の声かけするが今のところやり取りが出来ていない、今後声かけしながら支援していく。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花や利用者と一緒に手作りした飾り物などで季節感を出している。カウンターに金魚の水槽を置き家庭的な雰囲気を作っている。天窓から外の光が差し込み換気にも気を配り居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>季節の花や利用者、職員と共に作成した壁画を飾って季節感を取り入れている。天窓から光が差し込み明るい居間には心地よい音楽を流したり、金魚の水槽を置いたりして居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内にソファを置き利用者同士で会話を楽しんでもらっている。また、独りになりたいと言われた時には居室に誘導し独りの時間を楽しんでもらっている。</p>		

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時にタンスや椅子・テレビなど自宅で使用されていたものを持ってきてもらい、家族の写真やご自分で書かれた絵やぬりえなど飾り安心して暮らせる居室作りをしている。</p>	<p>(お) 仏壇や、孫の絵、書道が飾られて家族のやさしさに見守られた温かい雰囲気のある居室や利用者の身体状況に応じた居室作りが行われ、本人が居心地よく過ごせるよう、工夫、支援されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>椅子には本人が分かるよう名前を貼ったり、居室前には飾り物やのれんで自室が分かるよう工夫している。</p>		



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム南の家族 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない